

令和5年度 学校経営要綱

大牟田市立白川小学校

1 学校経営にあたって

- 日本国憲法、教育基本法、学校教育法をはじめとする教育関係法規、学習指導要領、福岡教育ビジョンに基づき、大牟田市教育施策の学校化を図る教育を行う。
- 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスの取れた子どもの育成に努め、保護者・地域に信頼される学校づくりを行う。
- 「全職員で全児童の教育に責任をもつ」を徹底するために、「自信」「協働」「チャレンジ」「コミュニケーション」をキーワードとし、「率先垂範」「凡事徹底」を心がけ教育活動を進める。

福岡県学校教育振興プラン

「国際的な視野を持って、地域で活躍する若者」（ふくおか未来人財）の育成

◎ 学校教育の目標

- ① 社会的な自立の基礎となる、学力、体力、豊かな心を培う。
- ② 社会の変化に対応し、社会を支え、その発展に寄与する力を育てる。

令和5年度 大牟田市教育委員会 基本理念

「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方に立ち、本市の学校教育は、持続可能な社会の創り手となる子どもたちの育成をめざす。

令和5年度 基本方針より めざす児童生徒の姿 持続可能な社会を創る「おおむたっ子」の育成

- 「おお」 大きな夢を抱き、未来を創る児童生徒
- 「む」 難しいことにもねばり強く取り組む児童生徒
- 「た」 たくましい心と体を備えた児童生徒

2 学校の教育目標

豊かな心をもち、意欲的に学び、たくましく生きる児童の育成を図る

- (1) めざす児童像 「よい子・つよい子・かしこい子」
- ① 友達を大切にし、支え合い、差別しない子ども（よい子）
 - ② 心も体も健康でたくましい子ども（つよい子）
 - ③ 自ら考え判断し、共に学べる子ども（かしこい子）
- (2) めざす教師像 「教師自ら望ましい人間を志向する」
- ① チーム白川として自覚を持ち、互いに高め合い協力し合う教師
 - ② 子どもの声を聴き、肯定的な関わりのできる教師
 - ③ 人間的に魅力があり、自分を高められる教師
 - ④ 児童を愛し指導力と情熱を持つ教師
- (3) めざす学校像 「人が環境をつくり、環境が人をつくる」
- ① 魅力ある、夢のある学校
 - ② 個性を發揮し、子どもが主役の楽しい学校
 - ③ 専門職としてプライドを持ち資質を向上させる学校
 - ④ 児童の生命、人権、個性が尊重され、進んで学びたくなる学校

(4) 本年度の育成目標及び努力点と具体策

本年度の育成目標及び努力点と具体策		
育 成 目 標		
豊かな心	確かな学力	健やかな体
よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、豊かな体験活動を設定し、人と人との交流を通して思いやりの心や規範意識の育成を目指す。	知識及び技能を場面や状況につなぐことを通して、学びが実生活や社会に生きる学習サイクルを充実させ、一人一人の確かな学力の育成を目指す。	運動能力の向上や健康課題の解決を図り、健康で安全な生活とスポーツライフに向け、明るく健やかな心身の育成を目指す。

努力点と具体策		
豊かな心	確かな学力	健やかな体
①心に響く道徳教育の推進 ・主体的に考え、議論する道徳授業 ・全教育活動を通じた道徳教育の推進 ②安心感のある人間関係づくり ・学級活動や学校行事、委員会活動行事などさまざまな場面での働きかけ ・優しさや思いやりに配慮した教室環境づくり ③規範意識の醸成 ・全教職員による「日常指導マニュアル」に即した一貫した指導 ・学級、委員会、縦割り活動などでの望ましい集団づくり	①基礎・基本の定着 ・本時の基礎・基本の確認とドリル学習や学力向上タイムの効果的な活用 ・発問の工夫で思考と対話を繰り返す授業 ・振り返りを重視した授業 ・「日常指導マニュアル」の活用 ②学び合いの充実 ・「学習意欲の向上」を目指した支え合い、学び合う学習 ③授業力の向上 ・単元全体を見通した教材研究の充実と指導法の工夫・改善 ・ICT機器の活用力の向上と指導事例の蓄積	①健康の保持増進 ・「不登校の未然防止」を目指した個に応じた支援と関係機関との連携の推進 ・発達段階や個に応じた健康教育の推進(家庭との連携強化) ・存在感のある学級づくり ②体力の向上 ・実態分析による体力づくり ・体育的行事の協働運営 ③危険予知能力、危機回避能力の育成 ・現実的で効果的な避難訓練の実施(垂直、防災) ・自他の生命を尊重する態度の育成

3 本年度の重点目標

**支え合い、学び合い、高め合いのできる子どもの育成
 ・「あい(愛)」あふれる教育
 一人一人の子どもに「目をかける 心をかける 語りかける」**

他者とのかかわりを通して、人間関係能力を育てるために大切なことは3つあると考える。

- ①「自由な雰囲気であること」・・・子ども一人一人がそれぞれ人格完成をめざして努力をし、その個性的な発展を認め合い、尊重すること。
- ②「寛容であること」・・・互いに失敗を許し合う中から言動を振り返り、相手へ配慮ある言葉かけができること。
- ③「支え合うこと」・・・子どもにとって、仲間とともに力を合わせて課題や問題に取り組むことや一つの目標を達成する喜びを共有すること。

そして、学び合いの授業を通して疑問を自由に質問したり、考えを伝えたりしながら、互いに考えを交流し合い主体的に理解しようという意識が高まる。更に、友達の考えをつないでいこうという習慣が身に付くことで、学び方が高まり、意欲がさらに向上していくと考える。

本年度も昨年度からの学び合いを通して思いやりの心、仲間を尊重する心を継続し、高めるとともに学力を向上させていきたい。そのために愛情あふれる教育と活力あふれる学校をめざす。

7 重点目標達成のための方策(経営の重点)

- ①基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、支え合い、学び合い、高め合いのできる子どもの育成

○【**学びを支える基盤づくり**】

- ・基本的な学習習慣、学び方の確立(日常指導マニュアルを基盤として)
- ・繰り返し学習による基礎的・基本的な知識や技能の定着
- ・失敗や間違いを認め合い許容できる受容的な学級集団の育成
- ・児童の言葉を大切にしたい学びの振り返り
- ・日常指導マニュアルの「家庭学習の手引き」を基に家庭学習の推進

○【**授業改善**】

- ・改訂版、日常指導マニュアルの共通理解と実践
- ・支え合い、学び合い、高め合いに関する指導の系統化
- ・国語科の書く力を核とした全教科の授業実践
- ・総合的な学習の時間、特別活動(学級活動)における話し合い活動の充実

○【**学習過程**】

学習の各段階	子どもの学びの姿	授業のチェックポイント
『魅力的な課題』 ・学ぶ意欲や必要感を感じることができそうなスタート ・学習のイメージの共有	・やってみよう。 ・なぜだろう。 ・こんな力がつきそうだ。 ・～の学習が活かそうだ。	・価値のある課題であるか。 ・課題の意味が伝わるような提示方法が準備されているか。 ・解決への意欲を持たせているか。
『自力解決の場』 ・全体と個の課題	・こんな方法はどうかな。 ・このヒントを生かしてみよう。	・子どもの気付きや考えを生かしているか。

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自己評価と教師評価を生かした学習と支援 ・課題意識や学ぶ力に合った学習資料の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分には～がよさそうだ。 ・他の方法を考えてみよう。 ・足りないのは～かもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項や図・表などを活用し、多様な考えを引き出しているか。 ・個々の学習状況を適切に把握し、支援しているか。
<p>『友達と学び合う場』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の形態の柔軟な編成 ・自分の学習が生かされている実感 ・確かな学力の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達はどんな考えだろう。 ・自分の考えを伝えよう。 ・友達の考えが生かせそうだ。 ・そういう考えもあるのか。 ・その方法で解いてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが伝え合い、話し合いを通して学び、考えを深めているか。 ・子どもの学習意欲は持続されているか。
<p>『学習の確認の場』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが学習を振り返り、生かす力 (基礎となる学力が身に付いた実感や意欲) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習してよかった。 ・ためになった。分かった。 ・～の力がついた。 ・これから生かせそうだ。 ・もっと～してみたい。 ・自分で～してみたい。 ・他にないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に対する成就感や満足感、自己有用感をもたせているか。 ・これからの学習や生活、他の教科等に生かせる方法を身に付けさせ、次への期待感をもたせているか。

②自分の良さに気づき、一人一人が自分の考え方を伸び伸びと表現することができる子どもの育成

○【信頼関係や温かい人間関係を基盤】

- ・お互いのよさを認め合い、所属感を大切に、高め合う集団（学級・縦割り）づくりの推進
- ・教師自らが子どもと共に考え、悩み、感動を共有しながら、学ぶという姿勢で授業に臨む
- ・よりよく生きるための自己有用感や多様な人と関わる力の育成
- ・温かいコミュニケーションによる信頼関係の構築

○【自分らしさが輝く場面づくり】

- ・子ども一人一人が自らの課題をもって追究したり、考え、判断したりしたことを、自分の言葉で表現できるような機会の設定や活動の工夫
- ・一人一人の自分らしさが表現される活動の場の設定
- ・じっくり考えたり、方法を選択したりする機会の保障
- ・結果の良し悪しではなく、過程を振り返る場の設定

○【授業における大切にしたいこと】

- ・よい姿をほめ、好ましくない姿は正す（愛情を持って）ようにする。
- ・子ども一人一人に自分の考えをもたせ、自分の考えを伝えさせる。
- ・小グループでの話し合いを取り入れ、机間指導で子どもの考えを把握し一人一人を生かす。
- ・つぶやきを生かしたり、よい考えの子どもの発言を促す。
- ・発言をつなげ、集団での学び合い、高め合うようにする。